

数学

神戸大学 [文系] (前期)

<全体分析>

試験時間

80分

解答問題数

3題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

今年も積分法からの出題がなかった。

その他トピックス

今年は理系と同じ問題が1題、同様のテーマの問題が2題出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分法 数列	数学Ⅱ 数学B	3次関数を最小にする x の値。 漸化式。	標準
2	確率 整数の性質	数学A 数学A	サイコロの目の積が約数になる確率。	標準
3	図形と方程式	数学Ⅱ	直線と放物線が接する条件。 軌跡。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年は数学ⅠAⅡBの各分野からまんべんなく出題されているため、各分野をバランスよく学習すること。さらに過去問の研究を通して融合問題まで手を広げておきたい。

また、証明問題もよく出題されるから、しっかりと対策をする必要がある。